

温泉保養士(第 11 期)養成講習会開催のお知らせ

温泉保養士(バルネオセラピスト)とは、温泉医学、予防医学に基づき、温泉の持つ保健的機能を引き出す知識、技術を習得し、温泉療法を活用した健康づくりを安全かつ適切にアドバイスできる人材のことです。

現在、温泉本来の活かし方の核となる「温泉力」や、人間が持っている「自然治癒力」を引き出すための知恵が求められています。

本講座では、「温泉の本質とは何か」、「温泉を健康や美容に活かすにはどのような方法があるのか」、「温泉と相乗効果が期待できるものとは何か」、「温泉地の効用とはどのようなものか」などを主軸に置き、温泉に関わる専門知識、本質的な利・活用法、地域ならではの資源の発掘と健康資源開発を学び、観光事業、健康事業、福祉事業など広い分野で活躍することのできるスペシャリストを育成します。

現在、北海道から沖縄まで全国に 625 名の温泉保養士が誕生しています。温泉に関心をお持ちの皆様をはじめ、温泉事業従事者、観光事業従事者や福祉事業従事者、医師をはじめとする医療従事者、旅行業者、自治体行政従事者など様々な職業に従事されている方です。

本養成講習会は、一年に一度開催しております。

- 1. 対 象** 温泉に興味のある一般の方、温泉事業従事者、観光事業従事者、福祉事業従事者等、特に受講制限はございません。
- 2. 期 間** 平成 24 年 10 月 5 日(金) ～ 7 日(日)
全 11 課程 (講義 60 分 10 課程・実習 60 分 1 課程)
- 3. 会 場** かながわ労働プラザ
(神奈川県横浜市 JR 根岸線「石川町駅」徒歩 3 分)
- 4. 受講料** 1 人 38,500 円 (テキスト代及び認定試験料含む)
- 5. 主 催** (社)日本温泉保養士協会
- 6. 資格認定** 温泉保養士養成講習会受講者で、全 11 課程のうち規定の講習を修了し、日本温泉保養士協会が行う認定試験に合格した者を温泉保養士として認定します。

7. 講義スケジュール及びテーマ

	日 程	テ ー マ
1	10月5日(金) 13:00~16:45	① 21世紀温泉事業の方向性 ② 「温泉」ってなに? ③ 世界の温泉事情
2	10月6日(土) 9:00~16:30	④ 温泉成分分析書の解読法 ⑤ 温泉療法と入浴事故防止 ⑥ 目的別入浴プログラムの組み方 ⑦ 現代型湯治システム ⑧ 保養資源を活用したプログラム(実習)
3	10月7日(日) 9:00~16:00	⑨ 自然療法と保養資源 ⑩ 生活習慣病の栄養学と温泉療法 ⑪ 「ウェルネス」としての温泉活用法 [認定試験]

8. 受講お申込み方法

別紙のお申込み用紙に必要事項を記入の上、FAX または郵送で送付下さい。

9月21日(金)までにお申込み下さいますようお願い致します。

9. 受講料お支払いについて

お申込み後7日以内(お申込日を含む)に受講料を指定口座にお振込み下さい。
振込み手数料は、お申込み者様のご負担とさせていただきます。ご了承下さい。

受講料お振込み → **手続き完了** → **案内書を郵送**

(お振込先) 福島銀行 湯本支店
(普) イツパンシヤダンホウジン ニホンオンセンホヨウシキョウカイ
口座番号 1046113

(注意事項)

1. 先着順のため定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
2. 期日までにお振込みが確認出来ない場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。
3. 受講生ご本人の都合によるキャンセルの場合、理由の如何を問わず、返金は致しかねますのでご了承下さい。
4. 受講希望者が規定人数に達しない場合は、開催を中止する場合がございます。その際は、費用をご返金致します。
5. 開催中、講座に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることや退場して頂くことがあります。その際は、費用の返還を致しません。
6. 講座の録音、録画、写真撮影はお断りします。

温泉保養士(第 11 期)養成講習会申込書

(お申込期日) 平成 24 年 月 日

FAX (0246)43-3838

ふりがな 氏 名	
生 年 月 日 (西暦)	年 月 日
勤務先・ 所属団体名	
勤務先・所属団体 TEL	() —
勤務先・所属団体 FAX	() —
自 宅 住 所	(〒 —) ※案内などの送付先となりますので必ずご記入ください
自 宅 TEL	() —

※申込み〆切 平成 24 年 9 月 21 日(金)

※郵送の場合には、下記 ↓ までお願い致します。

(社)日本温泉保養士協会

〒972-8317 福島県いわき市常磐下湯長谷町3丁目60

TEL (0246) 43-3838 FAX (0246) 43-3838